

# 〈東文研・ASNET共催セミナー〉

## 王維『輞川集』と南方文学の伝統との関係

Wang Wei's Collection of Wang Chuan and Southern Literary Traditions

王維『輞川集』は、新たな文学的伝統の誕生であるが、同時に伝統文学を自覚的に選択し、熟慮を重ねた結果といえる。『輞川集』における自覚的選択とは例えば、中国文化思想の源泉である先秦諸子の中では、王維は『莊子』にのみ親近感をあらわす。中国最古の文学である「詩騷」の中では、『楚辞』に偏重している。また詩賦の中では、漢魏よりは六朝、

とりわけ永明体に心を寄せる。王維の文学および文化傾向を一言で表現すれば、詩人の心は遥かに『莊子』『楚辞』と相通じ、近くは六朝を承け、南方文学の伝統をさらに深く継承



するものと言える。本報告は、『輞川集』のテキストを考証し、作品を分析することにより、南方文学と『輞川集』の関係という新たな文学モデルを描き出し、また作者が自覚的に南方文学の伝統を選択した原因について検討する。

◆日時：2016年5月12日(木) 17:00-18:00

◆報告者：張紅氏(湖南師範大学国際漢語文化学院 准教授)

◆コメント：大木康氏(東京大学 東洋文化研究所 教授)

◆会場：東京大学 本郷キャンパス内 東洋文化研究所 1F ロビー

※ 報告は中国語で行われます。



東京大学  
日本・アジアに関する教育研究ネットワーク  
Network for Education and Research on Asia

